

(有)北新設備工業

宮崎会長が昭和55年に創業し、平成4年から開発を進めた「融・名・人」(ゆうめいじん)が、わが社のイチオシでとにかく融けますと語る大村社長。

地中への埋設型の同製品は、水槽に耐久性・耐腐食性に優れた強化プラスチック(FRP)を採用、一年を通して10℃前後を維持している地下水を利用しているので、沸かすための灯油が必要ありません。

また、電気は自動制御で空気によるかくはん装置で雪の塊を小さくし融雪を早める工夫がされているのでランニングコストが一冬3000円弱の電気代のみと言う優れものです。

施工時期は5月から12月で、4・5日の工事で完成するとの事でした。

豪雪地帯の滝川では雪を捨てる場所があっても、積み上げるのが一苦労です。雪捨てでお悩みの方は是非、雪のあるこの時期に大村社長を訪ねてみてください。



黄金町東2-1-21 (☎22-5886)